

取扱説明書



ファミリーポンドキット レギュラーサイズ <C50STR610F>



水質維持のため、常時ポンプを稼働させて下さい。

【冬場に池が凍結する可能性がある場合にはポンプを止めて下さい。】

設置工事担当者様へ

- 本製品には、土壌、石材、植物及び、排水用配管は含まれておりません。別途ご用意下さい。
- 本書は、設置工事用の説明書になります。水中ポンプの説明書は別紙をご参照下さい。
- 設置完了後、本書は施主様(日常ご使用になる方)へお渡し下さい。よろしくお願い致します。

この度はファミリーポンドキットをご購入頂き、誠にありがとうございます。設置工事の前に本書をよく読み、警告、注意事項をよく守り施工して下さい。

万一不具合、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

グローベン株式会社		URL http://www.globen.co.jp Email info@globen.co.jp
本社(営)	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-829-0800 FAX 052-829-0801	
関東(営)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-13 KHビル1階 TEL 03-5829-9511 FAX 03-5829-9523	
関西(営)	〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園1-11-14 野村ビル203 TEL 079-878-6070 FAX 079-878-6071	
商品センター	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-619-6788 FAX 052-619-6786	

梱包内容

梱包には万全を期しておりますが万一足りない部品、破損している部品がありましたら当社までご連絡下さい。

細かい部品が多いため、梱包を複数に分けていますので、梱包ごとにご確認下さい。確認後は一旦、元の箱に戻して下さい。

水中ポンプ				
水中ポンプ Eco-X7500				
 ポンプ本体	 タケノコニップル メスネジ40A	 交換用過スクリーン 【※使用しません】		入数:各1
他にも部品が入っています。詳細は別添のポンプ説明書をご確認ください。				
フロートスキマー				
フロート部分	リーフバスケット	スタンド部分	伸縮パイプ	異径ソケット
 底部: 30A オネジ 入数:1個	 フロート部分に入っています 入数:1枚	 上部: 40A メネジ 側部: 40A オネジ 入数:1個	 上部: 40A オネジ 下部: 40A オネジ 入数:1個	 30A メネジ *40A メネジ 入数:1個
異径ニップル	ブッシング	ソケット	タケノコニップル	
 60A オネジ *40A オネジ 入数:1個	 ※使用しません 30A メネジ *40A オネジ 入数:1枚	 ※使用しません 40A メネジ *40A メネジ 【伸縮パイプ付属】 入数:1個	 ※使用しません 40A メネジ/ φ40 ホース接続 入数:1個	
小さい部品				
プレフィルター 【水中ポンプ用】	ホルダー用クリップ 【水中ポンプ用】	ホルダースタンド 【水中ポンプ用】	ホルダー用ビス 【水中ポンプ用】	下受ゴム 【水中ポンプ用】
 30A 入数:1個	 入数:2個	 入数:1個	 入数:4個	 入数:4個
リベッドホース	タケノコニップル 30A内径32用	ホースクリップ	チーズ継ぎ手	ニップル継ぎ手
 φ32 入数:6m	 入数:2個	 入数:3個	 30A 入数:1個	 30A 入数:2個
異径ソケット継ぎ手	PVCバルブ水量調整用	シールテープ		
 30A×40A 入数:1個	 30A 入数:1個	 入数:1巻		
大きい部品 (長尺物)				
ポンドシート	不織布			
4.0×6.0mサイズ 防水性のゴムシート 入数:1枚	1×30mロール ポンドシートの保護布です。 入数:1巻			

梱包①

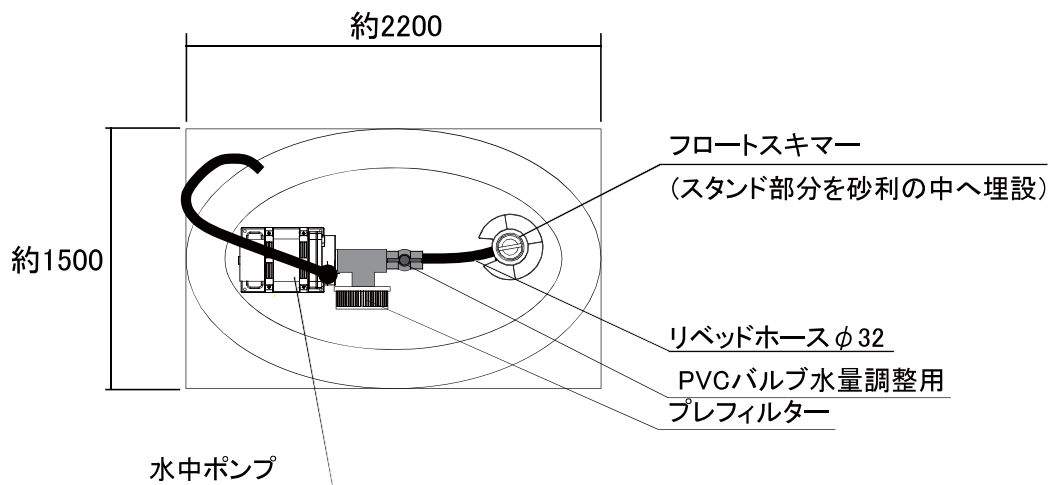
梱包②③

施工参考図

池を造成するための掘削は、立地条件などに応じて、下の2つからお選び頂く事が出来ます。
 A：池の側面を階段状に掘る（エリア分けする。）
 B：池の側面をなだらかに掘る。

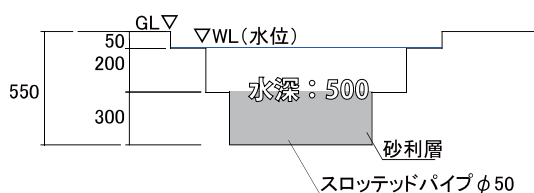
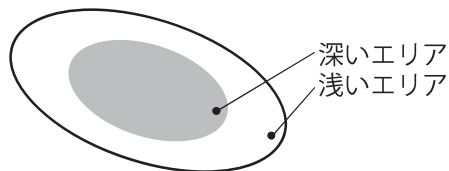
*参考図

・池寸法は参考数値です。必ずしも順守する必要はありませんが、著しく大きくなるとスキマーやポンプが正しく機能しない場合があります。



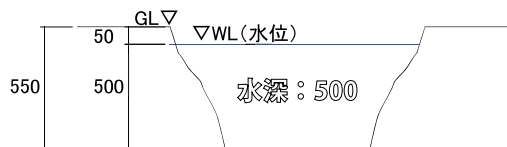
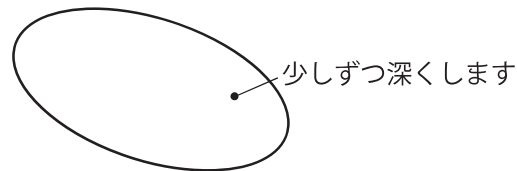
A：池の側面を階段状に掘る。

- ・ GL から 500mm以上掘り下げる：最も深いエリア
- ・ GL から 50～250mm掘り下げる：浅いエリア



B：池の側面をなだらかに掘る。

※側面をなだらかに掘ると作業中に崩れる場合があります。



設置手順

1：池を設置する場所を選んで下さい。

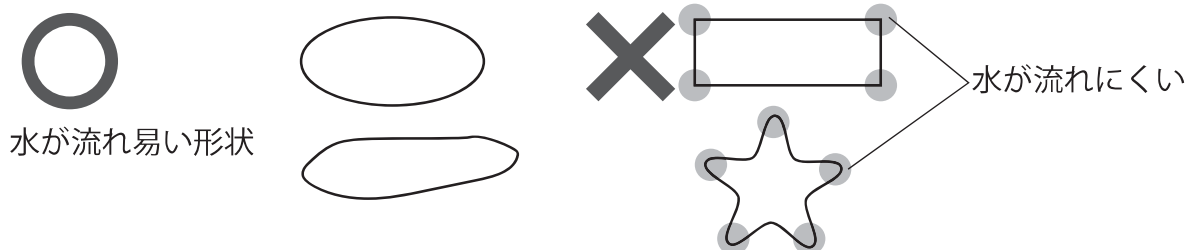
- ・リビング、テラス、デッキから身近に池を楽しめ、容易に近づける所
- ・適度に日光が当たる場所（植物、生物には日光が必要です。）
- ・夏場は水温の上昇を抑える為、水面の1/3程度は日陰になる場所
- ・オーバーフロー（余剰排水）の配管ルートも考慮

2：勾配がある場所は水平な状態にして下さい。



3：池の形をロープなどで輪郭を作ります。

- ・湾曲のある豆のような形が水質管理上、良いデザインです。
- ・急カーブや風変わりの形は落葉を留めたり滞留しやすくなるので避けて下さい。
- ・石や植栽が加わるので、水面は30%程度小さくなります。



4：池を掘る深さをエリア分けする。

A：池の側面を階段状に掘る。

- ・池を3ページの図を参考にして池の深さに合わせて印を付けて下さい。

B：池の側面をなだらかに掘る。

- ・この作業は必要ありませんので、次の作業へ進んで下さい。

5：地面を掘削します。

- ・必ず掘削する前に地下埋設のケーブル、上下水道管、ガス管などの有無を確認して下さい。
- ・石や根をキレイに取り除いて転圧して下さい。



地下水・伏流水が貯まる場合は、暗渠管にて自然排水、またはポンプにて強制排水する処置を取って下さい。

6：ポンドシートを敷設する。

- ・池の底から外側に向けて、不織布を全体に敷いて下さい。
- ・ポンドシートを池の中央において、外側に向けて広げて下さい。
- ・ポンドシートの上に石や砂利が入る所に不織布を敷いて下さい。
- ・ポンドシートをなじませるために池全体に水を入れて満水にして下さい。

万一ポンドシートに穴を開けてしまった場合は、別売りの専用補修キットで補修して下さい。

7：石を設置する。

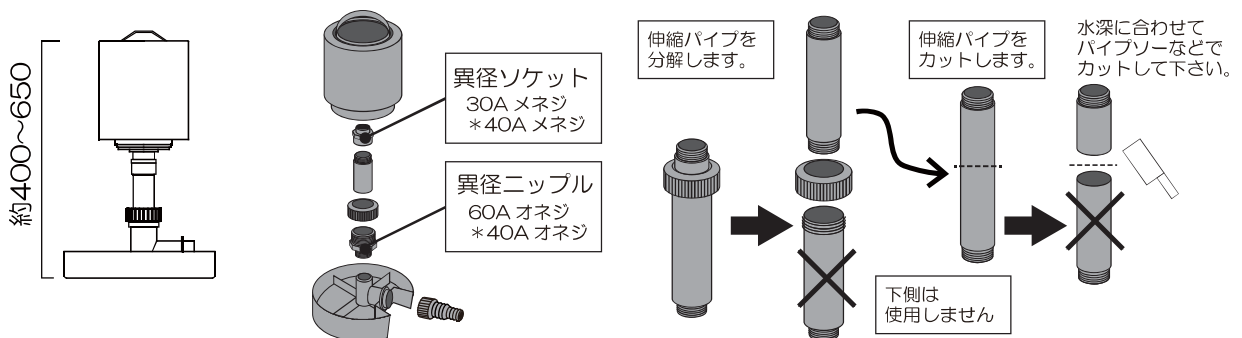
- ・池の端の周囲に石を設置して下さい。
- ・石は水位より 150mm程度高くなる様に設置して下さい。
- ・石を配置して外側のポンドシートは石の裏側に埋めて下さい。
- ・水の中から立ち上げた不織布は、土と接触させないで下さい。(下図参照)



不織布と土壌の設置面が多いと池の水分が土壌に吸い込まれて、池の水が減ります。

8：フロートスキマーを準備する。

- ・一旦、池の水を抜いてフロートスキマーを準備します。
- ・下図を参考にしてフロートスキマー本体を組立、設置して下さい。



裏側に入っているゴム製のオリングを無くさない様にご注意下さい。

フロートスキマーのスタンド部分は石などを置いて動かない様にして下さい。

9：ポンプの準備

- ・水中ポンプのカバーを外して、スタンドに付け替えます。
(取り外した部品は使用しません。)

ポンプカバーの分解

- ・ポンプの本体を右図、および別紙のポンプ取扱説明書を参考にカバーを取り外します。
モーター部分だけを使用します。
(外した部品は使用しません。)

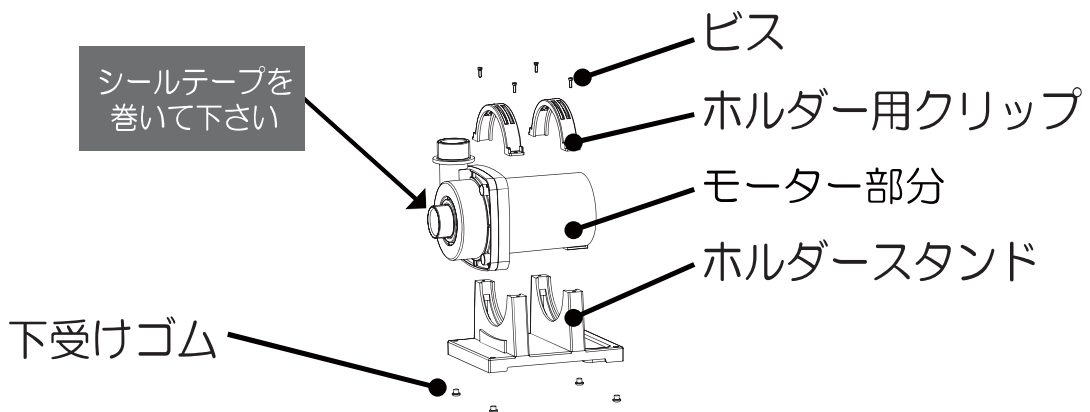


モーター部分

カバーの取り外し手順は
別紙：ポンプの取扱説明書
『6ページ』参照

ポンプホルダーの組立

- ・下図を参考に各部品を取り付けして下さい。
フィルターを取り付けする部分にはシールテープを巻いて下さい。



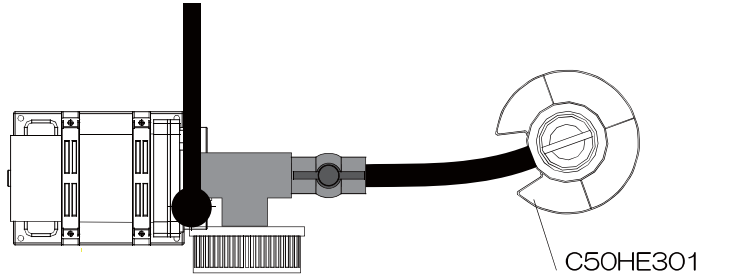
10：部材の接続

- ・右ページを参考に各部品を接続します。
- ・リベットホースはハサミなどで簡単に切れます。
切り口はまっすぐきれいにして下さい。
- ・ホーククリップのネジはしっかり止めて下さい。
- ・ネジ部分には接合部にゴムパッキンを入れるか、シールテープを巻いて下さい。



- ・水中ポンプは池底へ直接置かず、平板などで、かさ上げして設置して下さい。
- ・ポンプからの吐水口はフロートスキマーから離れた部分に設置して、リベットホースが吐水圧などで動かないようにして下さい。

設置参考図



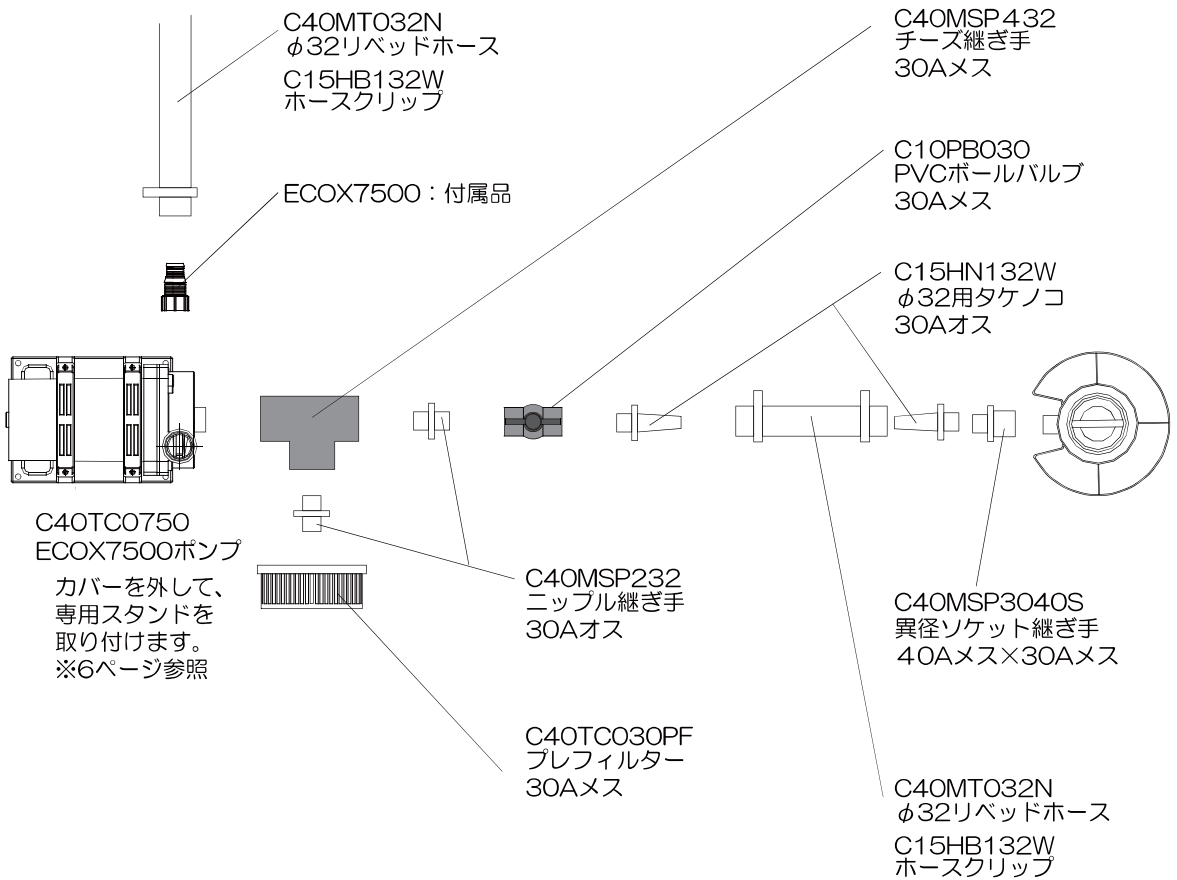
C50HE301
フロートスキマー
組み立ては
5ページ参照



⚠ フロートスキマー設置深さ

フロートスキマーは想定している水位よりも50mm低く下げて、設置して下さい。池に水が入れば、上部が浮かび上がる構造になっています。

水位に合わせて
浮き沈みます



1 1：池の周囲を石などで仕上げます。

1 2：水生植物を植えます。

- 池の表面積の30%～60%程度を覆う様に睡蓮や段差部分に水辺の水生植物を配置します。
- 2～3週間ポンプを動かして池の環境が落ち着いたら、魚を適量入れます。

魚の目安

6cm程度の魚:3匹程度
鯉などのサイズの魚には不向きです。

オーバーフローの処理について

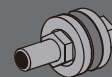
降雨などにより、水かさ（水位）が増して、水があふれる場合があります。防止策としてオーバーフロー（余剰排水）処理が有効です。

- 排水経路の取り易い箇所で大丈夫です。
- 池の水位上限よりも上に開口して下さい。
- サイズは30A程度必要です。
- 排水が逆流しないようにして下さい。



ボンドシートの開口は、穴あけ後にシートの裂け目が広がらない様になるべく丸い形に！

「フィッティング」がオススメです。



C15FT030R



別売りのフィッティング部品はオスメス共用でき、パッキン付の便利な部品です。口径30Aで接続配管に応じて向きを変えて下さい。

メンテナンス／運用について

池の水量について

池の水量は気温や日照などによって、気化蒸発します。日常的に池の水量に注意して、水の補給などを定期的に行ってください。雨水を池の補給水として利用する事をオススメです。【施工についてはご相談下さい。】

- 池の表面積の浮遊物は過半数をフロートスキマーが吸い込みます。バスケットの中の落葉などを定期的に取り除いて下さい。
- 池底にある落ち葉やゴミは定期的に取り除いて下さい。
- 成長した水生植物は必要に応じて間引きをして下さい。
- 魚が増え過ぎると池の中のバランスが保てなくなりますので、産卵期には注意して下さい。
- 水温が10℃以下になると魚は活動を停止します。（冬眠状態）えさやりを止めて、ポンプを止めても水質の変化は少ないです。水温が10℃以上になったら池の清掃を実施して、ポンプを稼働させ、えさやりも再開して下さい。
- 冬場に池が凍結する可能性がある場合にはポンプを止めて下さい。